

本日、iPadを持ち帰りました

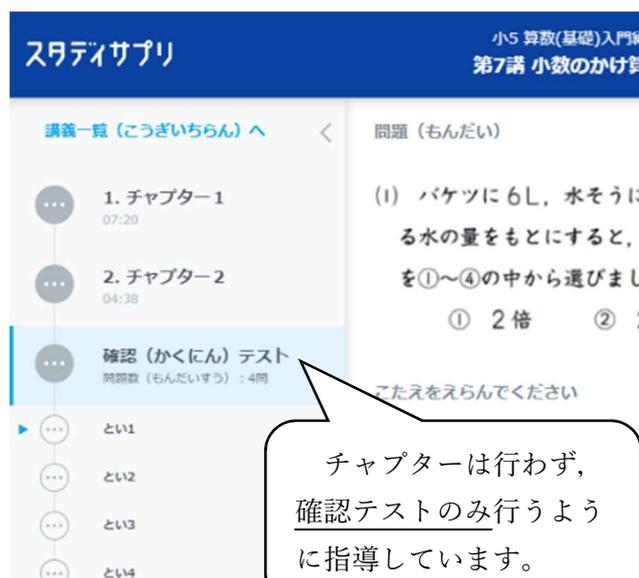
前号でもお伝えしたとおり、本日、全児童によるiPadの持ち帰りを行いました。今回は、新しく入れた学習アプリ「スタディサプリ」が家庭でも行うことができるか確かめるものです。「スタディサプリ」へログインするときに必要なIDとパスワードが記載されたカードも持ち帰りましたので、よろしくお祈りします。今回、家庭学習で行う「スタディサプリ」の学習内容は以下の通りです。今回は、以下の内容のみ実施してください。



入り方は、画面から「こうざいちらん」をタップし、以下の講座に入ってください。

学年	家庭学習での学習内容
1年	小1算数(きそ) たしざん ドリル
2年	小2算数(きそ) 長さ ドリル
3年	小3算数(きそ) それぞれの課題で
4年	小4算数(基礎)入門編 それぞれの課題で
5年	小5算数(基礎)入門編 第7講「小数のかけ算③」 確認テスト
6年	小6算数(基礎)入門編 第8講「分数のわり算①」 確認テスト

※ 4年以上には、動画が見られるチャプターがありますが、通信容量の都合上、今回は、チャプターを見ずに、確認テストのみ行うように指導しています。



保護者用

タブレット端末利用に伴う注意事項

- 1 タブレット端末の破損・紛失等について
(1) タブレット端末は、学校の教育活動での使用を基本としています。また、契約業者からのリース品のため、業者に返却するものですので、取扱いには十分に注意し、落下や水濡れ、踏みつけ等による破損及び紛失がないように管理してください。
(2) タブレット端末が故障したり、破損・紛失したりしたときは、速やかに学校へ連絡し、状況を報告してください。
(3) 機器を故意または過失により破損・紛失したときは、機器修理費等をご負担いただく場合があります。
- 2 機器利用上の留意点
(1) 学習用のタブレット端末タブレット端末になるため、学習目的以外の使用はしないようにしてください。
(2) 誤って踏みつけたり、とがったものを画面に押しつけたりすることにならないように置き場に気をつけてください。画面に圧力がかかり、液晶の破損につながります。
(3) LTE型タブレット端末のSIMカードを絶対に抜かないでください。
(4) 機器の充電により発生する電気料金は、家庭でのご負担をお願いします。
(5) 家庭でタブレット端末を利用する際は、各家庭のネットワーク環境を利用させてください。
(6) タブレット端末は、学校と家庭での利用を基本とします。持ち帰りの際に置き忘れや盗難には十分に注意してください。
(7) 高温多湿の場所での使用や保管、飲食しながらの使用はさけてください。
(8) USBメモリ等の外部装置の接続は行わないでください。
(9) インターネットの利用にあたっては、学校でも指導を行います。利用時間や方法について家庭でのルールづくりをお願いします。
(10) スタディサプリやロイノート・スクール、Zoom等のIDやパスワードは、第三者に知られないようにするなど、管理をお願いします。
(11) タブレット端末の利用で不明な点があれば、学校へ連絡してください。

iPadとカードは月曜日に学校で使用しますので、忘れず持ってくるようお願いします。

最後になりますが、本日、上記のような「タブレット端末利用に伴う注意事項」を配付しました。昨年度に配付したものと同じものですが、再度確認していただき、子ども達が家庭で大切に扱うようご理解とご協力をお願いします。



インターネットの使い方について 2

前号で、子ども達のインターネットや SNS の使い方についてのアンケート結果を紹介し、家庭での利用場所、利用時間等のルール作りをお願いしたところでありますが、ルール作りをしていただけたでしょうか。

今週行われた生徒指導の会議で、「情報モラル」について、郡山女子大学短期大学部の山口准教授の講演がありました。その中で興味深いデータを教えてもらったので紹介します。

右のグラフは「スマホの使用時間とテストの結果の相関関係」を表したものです。グラフを見てもらうと分かるように、スマホの使用時間が「全くしない」と「1時間未満」の成績は変わりませんが、1時間を超えたところから下がり始め、スマホの使用時間が長いほど成績が悪くなります。さらに、勉強時間が毎日2時間以上の子も、スマホの使用時間が長い子ほど成績が悪くなるのが分かります。毎日2時間以上学習している子も、スマホの時間が長ければ、効果が上がらないということになります。

この結果から言えることは、自分でタイムマネジメントできる子は成績がよくなるということです。自分で、「何時から何時まで勉強する」「勉強が終わったら、〇分だけ動画を見たり、テレビを見たり、ゲームをしたりする」を計画し、それが実行できる子は成績がよくなるということです。ただし、小学生には難しいことです。ぜひ、保護者の皆さんが、お子さんと一緒に約束を決め、その計画通り実行できるように環境を整えていただければと思います。

校長の独り言

我が家には3人の子どもがおり、皆さんと同様に、ゲーム、タブレット、PC、スマホ等との戦いがありました。結論から言えば、我が家ではゲームは誰にも買い与えませんでした。「みんな持っている」「持っていないのは私だけ」「話が合わなくて仲間外れになる」と言われましたが、買い与えなくても仲間外れになることはありませんでした。(多分ですが…。)長男はすぐサッカーに夢中になり、下の2人は小1から毎日スイミングスクールに行っていたので、やる時間もなかったのですが…。

また、タブレットやPCは調べ学習に必要なということで買い与えましたが、フィルタリングをかけるとともに使用時間の設定もしました。子ども達からは「ヤフーにも入れない」「ムーミンと検索しても調べられない」「9時にシャットダウンすると困る」「友達の家では設定を変えてもらっている」という苦情は何回もありました。調べ学習でフィルタリングがかかり、許可するために保護者のパスワード入力を毎回求められ、面倒と思う時もありました。でも、学年に合わせた設定から変更しませんでした。

ただ、スマホは高校入学とともに、3人に買い与えました。上の2人はそれなりにタイムマネジメントができ、使いすぎることはありませんでしたが、高校でしっかりとした目標がなかった下の子とは、スマホの使い方でも度々戦いました。「スマホのアプリの動画で勉強するから」と言って部屋にこもってYouTubeを見ていたのを見つけ、取り上げたこともありました。結局、大学進学を本気で考えるようになったらタイムマネジメントできるようになりました。

参考にならないかもしれませんが、各家庭で考えてみてください。

